

水道事業会計

問＝上下水道課（内275）

経営活動による収益的収入は、水道料金収入の減により、前年度比1,631万円（3.7%）の減となりました。

また、府営水受水費や減価償却費、人件費などの収益的支出は、経費節減に努めた結果、前年度比1,581万円（3.4%）の減となりました。

この結果、1年間の経営活動をあらかず収益的収支は、2,831万円の赤字で、前年度からの繰越欠損金と合わせると、平成26年度末の累積欠損金は3億6,605万円となりました。

※平成26年度は会計制度の変更があり、変更前の会計制度では、平成26年度末の累積欠損金は9億6,840万円となります。会計制度変更に伴い累積欠損金は減りましたが、現金収入を伴っていないため、依然厳しい状態が続いています

また、長期間にわたって使う水道管などの水道施設の建設に関する資本的収入は、平成26年度、27年度の2年間で建設する京都府営水道第2受水池

整備などにより、前年度比7,259万円（96.2%）の増、資本的支出は前年度比7,007万円（89.4%）の増となりました。

今後も、安心して安全な水道水を安定的に供給するとともに、より一層の効率的な経営、コンビニ納付の開始などサービスの向上に努めます。

経営活動に伴うもの（税抜）

区分	決算額
収益的収入	4億2,436万円
収益的支出	4億5,267万円

水道施設の建設に伴うもの（税込）

区分	決算額
資本的収入	1億4,801万円
資本的支出	1億4,845万円

■主な実施事業■

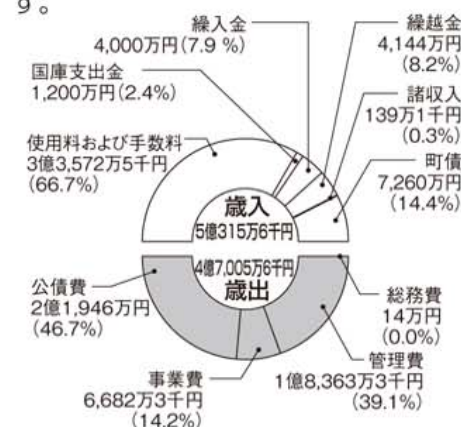
京都府営水道第2受水池整備、老朽配水管布設替、早稻田配水池系統漏水調査、水道施設中央監視装置更新

下水道事業特別会計

平成26年度の決算は、歳入総額が5億3,156万6千円で前年度比0.1%の減、歳出総額は、4億7,005万6千円で前年度比1.7%の増となりました。

歳入の主なものである使用料は3億3,572万5千円で、前年度比1.7%の減となりました。

歳出の主なものは、汚水中継ポンプ場施設管理費や汚水処理費、汚水幹線管渠更生工事費、桂川右岸流域下水道建設負担金等の事業費、公債費などです。

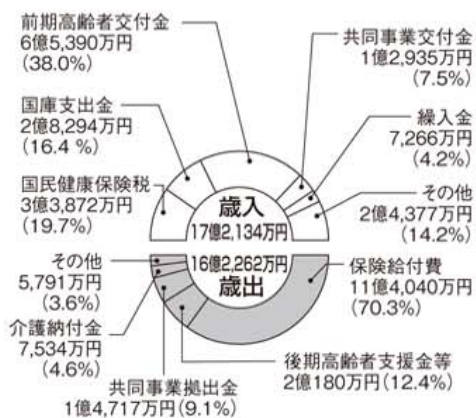


問＝上下水道課（内273）

国民健康保険事業特別会計

国民皆保険制度により、会社などの職場の健康保険やその扶養になっている人以外などが加入する医療保険制度です。

平成26年度の決算は、歳入総額で前年比5.1%増の17億2,134万円、また歳出総額で前年比5.2%増の16億2,262万円となりました。



問＝健康課保険医療係（内148）



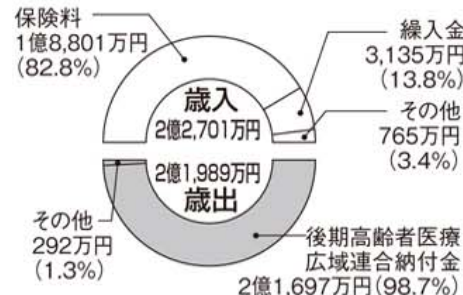
後期高齢者医療保険事業特別会計

平成20年4月から開始された後期高齢者医療制度における収支の決算です。

平成26年度の決算は、歳入総額が2億2,701万円、歳出総額が2億1,989万円となりました。

歳入の主なものは保険料で1億8,801万円でした。

歳出の主なものは広域連合へ納付する本町で徴収した保険料や保険料の軽減措置に対する負担金などの後期高齢者医療広域連合納付金で2億1,697万円となりました。

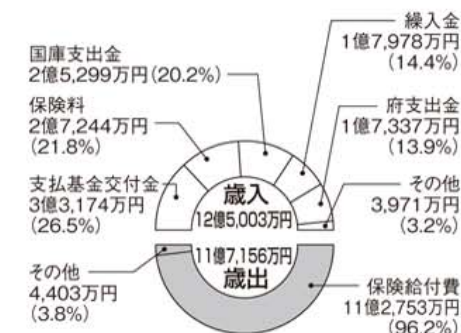


問＝健康課保険医療係（内148）

介護保険事業特別会計

介護保険の被保険者で、要支援認定者または要介護認定者に対して、必要な給付を行うための特別会計です。

平成26年度の決算は、歳入総額が12億5,003万円、歳出総額が11億7,156万円で、前年比0.7%減となりました。



問＝健康課高齢介護係（内137、139）

